

地域を知ろう

道・路・みち シリーズ

No.2 五日市街道道路

地下鉄新高円寺駅の傍らで、青梅街道から五日市街道が南へ分岐しています。寛文年間（1661～73）に武蔵野奥地を開拓するため開設された道路で、沿道には大宮新田、関町新田、吉祥寺、砂川新田など多くの新田（新しい村）があります。

分岐点より 100 メートルほどで大法寺に突き当たり、右に折れて西に向かい、杉並区内の松ノ木、成田、宮前、松庵を経て、武蔵野市へ入り、小金井の桜堤を通り、砂川、福生を経て、五日市町に達しています。五日市方面の薪炭、木材、沿道の農産物、江戸からの下肥（しもごえ）を運んだ幹線道路でした。